

進捗状況の概要

【教育改革】

- ・「岡山創生学」の整備及びクォーター制への移行準備：本事業の最重要項目である副専攻「岡山創生学」のDP、CP、履修案内等の整備を行い、平成28年度に開設できることとなった。また、クォーター制に向けた学事歴変更、時間割の検討を行った。
- ・平成28年度開講科目の開講準備：「おかやまボランティア論」、「おかやまボランティア演習」及び「おかやまを学ぶ」のシラバス整備等、平成28年度の開講準備を行った。
- ・平成29年度以降の開講科目の内容検討：「地域再生実践論」、「地域協働演習」及び「地域インターンシップ」について、平成28年度に開講する上記3科目との連続性を考慮しつつ検討を開始するとともに、「デザインプロジェクト演習」を開講した。
- ・学生ポートフォリオの開発準備：先行実施大学や経済団体を対象に、学生ポートフォリオの実態調査を行い、開発の検討を進めた。
- ・長期インターンシッププログラムの開発準備：受入れ先の企業や自治体との協議を進めたことで、受入れ自治体や企業を交えたプログラムの検討が可能となった。
- ・地域学習教材やコンテンツの開発：岡山理科大学、山陽学園大学、就実大学、ノートルダム清心女子大学から、得意とする分野の教材やコンテンツの提供を受け、教育プログラム開発委員会の開催により、COC+参加校で情報を共有することができた。
- ・実践型社会連携教育コーディネートシステムの開発準備：「雇用マッチングシステム」との入力仕様の共通化を図ることで、学生の利便性が増し、利用頻度の増加に繋がった。

【域学連携】

- ・地域創生コモンズ（真庭市）の整備等：整備を完了できたことで、平成28年度初頭からの利用が可能となり、学生の活動拠点を提供できることとなった。
- ・地域創生コモンズ（笠岡市、総社市、備前市）の検討：笠岡市については、設置場所を確定させた。また、総社市と備前市については、設置場所について協議を行った。
- ・自治体における域学連携活動の計画・実施：食育、高齢者健康増進支援等について、平成27年度におおむね計画通りに実施できた。
- ・協働型学習支援の実施のための準備：具体的な成果の提供には至っていないが、平成28年度実施計画を検討するという観点では十分な成果を得ることができた。

【産学連携】

- ・「雇用マッチングシステム」の開発準備：学生側の入力となる学生ポートフォリオシステムのベースの開発を完了できたことから、「企業ポートレート」の検討に入ることができ、同システムの開発が軌道に乗った。
- ・技術力向上のシステム作りの検討：「デジタルエンジニアリング」の分野を中心に、参加大学の教員で構成する協働関係を築くことができ、また、平成28年度の実施方針も策定できたことから、この活動の具体的な推進体制ができた。
- ・共同研究の計画・推進及び地域の魅力発信の仕組みの開発：「デジタルエンジニアリング」、「ヘルスケア」、「観光デザイン」の分野を中心に、企業力や地域力の向上を目的とする共同研究の計画・実施を行うことができた。また、真庭市において市民団体等と地域の魅力発信について協議した。

【その他】

- ・本事業の実施体制の整備：岡山県立大学長を頂点とするガバナンスのための学内体制を整備することができたとともに、協働機関での情報交換・共有できる環境や評価環境の整備もでき、当面必要なPDCAサイクルの構築は完了した。また、キックオフシンポジウムと各種会議を予定通り開催できた。さらに、WEB等による情報発信の環境を整備できたことで、本事業の周知に向けた準備ができた。